

# 水道組合および自家用水道世帯へ補助金を支給します

国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して、水道組合および自家用水道世帯へ補助金を支給します。

※この補助金は、広域水道料金減免額に相当する補助金です。

## 補助対象

町内に住所を有し、秩父広域上水道の給水区域外にある世帯

## 補助額

一世帯あたり4,720円

## 申請期間

7月1日(水)～令和9年2月26日(金)

問合せ 町民生活課(③番窓口) ☎62-1232



山口 榮子氏

## 瑞宝双光章

山口榮子氏(大字二沢)が、瑞宝双光章を受章されました。

この章は、公務に長年にわたり従事し、功績をあげたかたに贈られるものです。

山口氏は、公立小学校校長として、学校教育の振興と充実に尽くされました。

また、教育行政の面でも埼玉県教育局北部教育事務所において、主席指導主事、副所長兼秩父支所長などを歴任し、高く豊かな識見と卓越した指導力を発揮し調和と中立性、安定性のある教育行政の振興に大きく貢献されました。

## 町長

## コラム

### 忘れたくない視点

6月号の広報に掲載された「なりきって書こう(自転車)」という作文を読みながら、考えさせられました。

自転車になりきって見た景色や感じたことが、温かく描かれていました。

なりきってみる。簡単なようでいて、実際にはなかなか難しいものだと思います。

私たちは日々、多くの情報や条件の中で物事を考えています。行政の仕事も、法令や予算、公平性など、さまざまなことを考えながら判断しなければなりません。それはとても大切なこととです。

一方で、考えなければならぬことが増えるほど、どうしても条件や事情に目が向きがちになります。気が付くと、物事を

自分の立場からだけ見てしまうこともあるのかもしれませんが。

相手はどのように感じているのだろうか。どのような景色が見えているのだろうか。そうした視点がおろそかになっていないだろうか。作文を読みながら、そんなことを考えました。

それは決して新しいことではありません。誰もが大切だと分かっていることです。しかし、そ、気が付かないうちに後ろへ下がってしまうこともあるのかもしれません。

相手の見ている景色に思いを巡らせること。その大切さを改めて心に留めたいと思います。



皆野町長 黒澤 栄則